

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第295号

令和5年12月4日

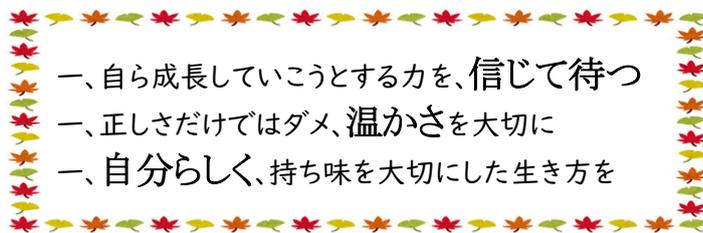
瀬戸市立幡山中学校



「こどもまんなか社会」一人権週間に寄せて

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

先日、瀬戸蔵つばきホールで、瀬戸市小中学校 PTA 連絡協議会が開催され、同時に講演会も行われました。今年の講師は、「母と子の幸せ応援団 ひなたぼっこ」代表の浅井智子さんでした。浅井さんは、多治見市で森のわらべ多治見園という幼稚園を経営されており、そこでのエピソードを交えながら、毎日子育てを頑張っている我々に元気と勇気をたくさんくださいました。お話の中で大切にされていたキーワードは次の三つです。



- 一、自ら成長していこうとする力を、信じて待つ
- 一、正しさだけではダメ、温かさを大切に
- 一、自分らしく、持ち味を大切にした生き方を

そして、印象に残ったお話に、父性と母性の話がありました。学校は子どもたちにとっては社会であり、父性性の強い環境である。そのため、「もっと頑張れ、もっと良くあれ」と求めてしまいがち。逆に、家庭は母性性にあふれた環境であってほしい。「ありのままのあなたは素晴らしい」

これが大切なんだと。この言葉を聞いた私は、家庭でも教師をやっていたなどこれまでの自分を深く反省しました。また、浅井さんは、子どもたちにもっとも必要なことは、「対話」であり、ありのままを受け入れてもらえることで育まれる「根拠のない自信」が生きる力につながるとおっしゃっていました。

ところで、みなさんは、「こども基本法」をご存じでしょうか。今年の4月に施行された新たな法律で、すべての子どもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、その基本的な考え方ははっきりとさせ、社会全体で「こども施策」を進めるために作られました。この施策が大切にしている考え方が6つあるのですが、その中でも特に目を引くのが、三つ目の「すべての子どもが自分に直接関係することに意見を言えたり、さまざまな活動に参加できたりすること」です。そして、聴いた意見を大事にして、国の取組などに反映させていきます。この考え方こそ、浅井さんのおっしゃる「根拠のない自信」につながるものではないでしょうか。「子どものくせに」「子どもなんだから」などと、大人と子どものフレームに分けず、ひとりの人として、ありのままを受け入れる姿勢こそが、今の大人には求められているのだと感じました。



しかし、ここに行きつくには、我々大人自身も幸せな生き方やポジティブな考え方が必要だと思います。みなさんは、ご自分を楽しむ方法をご存じですか？幸せな大人たちに囲まれた子どもたちはきっと「あー、楽しい!!」と感じる瞬間にあふれているような気がします。こども施策が大切にしている6つ目、「家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる社会を作ること」。そんな社会の実現に向けて、幡山中学校においても、子どもたちの思いにきちんと耳を傾け、笑顔と自信にあふれた人として成長できるよう、これからもサポートしていきたいと思っています。

12月4日(月)から12月10日(日)の1週間は「第75回人権週間」となります。ぜひご家庭でも、人権について考えてみるきっかけにしてください。

当時、世の中で話題沸騰となった
2016年度愛知県人権啓発ポスターです。→
お茶の間の話題にぜひ!



学校公開日・授業参観

11月7日(火)

今年度2回目の授業参観を行いました。多くの地域のみなさまや保護者のみなさまにご参観いただきました。お忙しい中お越しくださり、ありがとうございます。



避難訓練

11月14日(火)

今回の避難訓練は、危機的状況に応じた判断力と行動力の育成を図る目的で、生徒には11月13日～17日のどこかで行うことは伝えていましたが、正確な日時は伝えずに活動を行いました。また、実際に教員が非常ベルを押すなど、より非常時に近いかたちで行いました。そんな中でも生徒たちは冷静に行動する姿が見られました。本番が無いことが一番ですが、いざという時に自分の命を守るようにしてほしいと強く思います。



通学路清掃

11月22日(水)

生徒たちが普段から行き来している通学路のごみ拾いをする「通学路清掃」を行いました。校門前に設置した集積場で、2年議員の生徒が中心となって、PTA役員・教職員・あいさつボランティアのみなさんの協力を得て、手際よく分別回収をすることができました。こうした活動ができる幡中生を本当に誇らしく思います。



リサイクル用品・資源回収のお願い

幡山中学校 PTA では、1月26日(金)の新1年生入学説明会前に、新入生の保護者のみなさま方を対象とした「制服等リサイクル活動」が予定されています。リサイクル可能な【制服・体操服・体育館シューズ】がありましたら、いつでも本校の来賓玄関やリサイクルボックスまでお持ちください。

また、常時「アルミ缶・古布・新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック」の回収もリサイクル置き場(校舎東側)にて行っております。ご都合の良いときにお持ちいただければ幸いです。なお、資源回収にご協力いただくために校門から車を乗り入れる場合は、生徒の登下校の時間帯は避けていただきますようお願いいたします。